

承認/1991年3月8日
 例会日/火曜日・PM6:30
 例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号
 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

会長/小野 雅之
 幹事/木下 福郎
 会報・雑誌・広報委員長/
 朝比美和子



2009-2010

WEEKLY REPORT

2009-2010年 RI会長 ジョン・ケニー

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail info@meinan-rotary.com

第905回

2010年4月27日(火) 雨 第38回

～ 雑誌月間 ～

齊唱 手に手つないで
 出席 会員 68名 (出席率算入人数 61名)
 出席 50名 出席率 81.97%
 前々回補填率 96.83%(4月13日分)

会長あいさつ

会長 小野 雅之さん

22日から昨日までバンコクへ行ってきました。タイの自動車産業は今非常に好調で、特に中国向けの市場がかなり伸びています。

今バンコクでは、対立デモがあり一部の繁華街は危ないということでしたが、我々のホテルやゴルフ場は全く問題無く非常に快適な旅行ができました。特にアマタスプリングカントリーは非常に素晴らしいゴルフ場で、17番のショートホールはティーショットした後にモーターボートで島へ移ってパッティングするというので非常に楽しくゴルフができました。

さて、私共もあと2ヶ月ということになりましたが、皆様のご期待に沿えるように頑張りたいと思います。



幹事報告

幹事 木下 福郎さん

1. 次週5月4日は法定休日のため休会となります。再来週5月11日は例会場が16階のアイリスに変更となります。また、5月11日は理事会及び委員長会議が17階のラインで5時からあります。
2. 事務局のGW休暇は4月29日～5月5日です。この間緊急のご用は木下までご連絡お願い致します。
3. 愛知県美術館から「小川芋銭と珊瑚会の画家たち」という展覧会の招待券が20枚来ております。4月9日～5月23日まで開かれております。ご希望の方は事務局までお申し出下さい。
4. 地区のロータリー研究会が、6月8日1時45分～4時30分までございます。場所は名古屋市市政資料館の2階です。内容は講演、小講演、質疑討論となっております。登録料は500円で自己負担です。ご希望の方は事務局までお申し出下さい。

ニコボックス

◆ 本日は、信頼できるパートナー、浅井浩さんによる会員卓話です。よろしくお願ひいたします。

堀田 光江さん 安藤 修さん 木下 福郎さん
 川辺 清次さん 久米 伸治さん 小野 雅之さん
 加藤 宜之さん 東山 直史さん 木村 猛さん
 佐々木 眞さん 本多 利郎さん 中西 芳子さん
 武藤 正行さん 平沼 里子さん 牧野 好弘さん
 白銀 義昭さん 出田真太郎さん 白藤 憲雄さん
 山本 誠一さん 坂田 信子さん 細井 俊男さん
 林 隆二さん 大橋さなえさん 山崎 淳さん
 田中 一雄さん 田中 省三さん 犬飼りさ枝さん
 中村 勝さん 生野 房江さん 新原 尚さん
 江上 隆夫さん 三浦 和人さん 朝比美和子さん
 黒田 康正さん 鈴木 一博さん 長尾 浅吉さん
 三島多恵子さん 猪村 美之さん 有川 英敏さん
 杉本 勇さん 佐々木元彦さん 入谷 直行さん

◆ 本日卓話をさせていただきます。心配ですがよろしくお願ひ致します。 浅井 浩さん

◆ 先日は大変お世話になりました。加藤宜之さん、ロータリーの友情に感謝致します!!

小山 慎介さん

本日合計 47,000円 累計 1,856,000円

委員会報告

■国際奉仕委員会 委員長 杉山 隆秀さん

4月21日に地区国際奉仕委員長会議があり、その中で事例報告がありました。

国際交流友好姉妹提携に関する事例ということで、まず、ほとんどのクラブが姉妹提携を結んでおります。あまRCと台湾のRCは1年に1回お互いのクラブを訪問しているそうです。名南RCと台北ミレニアムRCで進めている案は3年に1回ですから、それに比べると頻繁に訪問してみえるという状況です。

青少年交換に関する事例では、大須RCは毎年1人は交換学生を出しており、延べ58名の交換学生を出しています。

世界社会奉仕活動に関する事例では、東海RCがこの費用を出すために、会費とは別に会員1人につき毎月1000円づつ余分に徴収しています。また、知立RCがタイの水質改善のために家庭用排水装置を30基設置の予定で、この事業予算は60万です。名南RCもタイに浄化器を置きましたが、これに比べると非常

に少ない予算で、今年は予算が無い為にメンテナンスが行えませんでした。

名南RCに比べると他のRCは活発に国際交流又は国際奉仕にがんばってみえるという印象を受けました。

会 員 卓 話

■浅井 浩さん

今日は、「名南RCに入会して」「仕事の話」「趣味の話」の3つについてお話させていただきたいと思います。

お配りした資料の一番最後の頁をご覧ください。知事をされていた桑原幹根さんという方が80歳過ぎた時に「八十路を越えて」という講演会がありました。私は30代だったと思いますが、大変印象に残っておりまして、「人生は成り行き任せというのもあるけれども、できれば計画的な事が必要だ」というような話でした。そこで自分の人生歳事訓を書かせていただきました。「浩水」というのは私の詩吟においての芸名でございます。この内容からしますと、今年1月で70歳になりますので「七十代で散り惜み」となっております。この内容を30代で書けたのは少し不思議ですが、100歳までをこんな格好でということが書いてあります。「散り惜しみ」ですから、まだ何でも来い、どんなことでもやれるということで、今の心境でございます。「二十代で水を得て」というのは、社会に出るということです。「三十代で花を知り」とは自分が何であるかを知ることです。四十代でそれに対する蕾を付け、五十代で花が開き、六十代で花盛りです。今のメンバーの方の平均が60数歳だと思いますので、華やかな方々の集まりではなからうかと思えます。

自分の親は100歳少し前で老衰で亡くなりました。また、私が57歳の時に、前の妻が53歳でガンで亡くなりました。一番最初はろれつが回らなくなり、聖霊病院で調べた結果、肺の奥の方に腫瘍が見つかり悪性であると言われました。それから名大病院に移り、色々検査した結果、すでに末期でおよそ余命半年と告げられ大変ショックを受けました。風呂、トイレを含め看病を全部私がやりました。肺ガンが一番苦しいようで、脊髄までガンが進行しますと痛みが耐えられません。そのためモルヒネを飲むのですが、飲むと腸が働かなくなり排泄ができなくなるため、浣腸をして一緒にトイレへ行くという日課が半年くらいあり、ものすごく辛かったです。でも、ロータリーに入会して、自分で立てたプランを崩さないため、例会には出席するということを決めていました。

ロータリーには、平成9年1月7日に入会をさせていただきました。紹介者の山本誠一さんに2年くらい熱心に入会を勧めていただき、13年前に入会しました。入会した時、「とにかく出席することが一番大事だ」というものすごく重い言葉を聞き、自分で10年プランというのを立ててやってきました。しかし、9年と11ヶ月でストレスや疲労が溜まってダウンしてしまい、出席がそこでストップとなりました。入会して間違いなく良かったことは、世間が広



くなること、友人ができること等々です。

次に仕事の話ですが、私は36歳の時に自立をさせていただきました。流通小売業向けのシステムをやらせていただいて、たくさん導入させていただきましたが、製造が無くなったため全面中止し、電子レジスタや後方のアプリケーションといったものを行いました。現在は不況でユーザーの新規投入やリプレイスがなかなか進まず、悪戦苦闘しております。

タイムチェックという商品は当社でアプリケーションを開発したタイムレコーダーに変わる機械でございます。センサー端末は指静脈を読み取り、電子化してデータとして落とします。最初はパソコンの機密を守る為に本人しか認証しないよう開発されました。最近はATM等にも付いているシステムです。これを使用するためのアプリケーションを当社でかなりの費用をかけて開発し、最近ではかなり引き合いをいただいています。日本は時間管理がルーズで、サービス残業を容認している企業がたくさんありますが、だんだんこれが厳しくなりつつあり、時間管理をきちんとやる企業スタンスが必要になってきた時にこれがあれば間違いなく管理ができるというような代物でございます。また、ダイスキッズというのは、まず第一に子供を集め、それからお金を持っているシニアを集める為のものです。子供がおじいちゃん、おばあちゃんを連れて行くたびにポイントが溜まってゲームが出来たりする仕組みでございます。それから小売販売管理システムや、5年ほど前から製造卸売業務向けの在庫管理も手掛けております。

続きまして、趣味の話ですが、若い頃は野球や競馬やパチンコをやりましたが、今でもやれるのは麻雀で麻雀歴は50年でございます。ゴルフは40年、野球が30年です。囲碁は20年経ちましたがこれからもっと上達しようという気力を持っております。絶えず脳を刺激して、好奇心を持つということは健康にもとても良くてボケない秘けつです。ですから、何歳でも結構でございますし、一旦休憩されている方ももう一度囲碁クラブへ参加をいただいて、楽しくできるような機会があれば幸いかなと思っております。また、詩吟は5年間習い、フルートは3年になりまだ続けております。私の趣味は、出来れば動く方で2つ、頭脳を使ったりする静かな方で2つあるとバランスがとれるかなと思っております。45歳くらいで趣味のプランを立てて選んだのが詩吟でした。45歳から50歳まで詩吟を練習しました。私は2という数字が好きですので、2段が取れたら辞めようということにしていました。そして、2段が取れた時に先ほどの「浩水」という名前をいただきました。50歳からは囲碁を始めました。9級くらいからのスタートで、現在は東南・名南合同囲碁会もさせていただいており、4段ということになっております。それから喘息を治すためにフルートを67歳から始めました。今日は最後にフルートの演奏を聴いていただきたいと思えます。

第 907 回例会 (5月18日) のご案内

会員卓話

生野 房江さん 東山 直史さん